

伝える力や思いを持つ先生に

ソウル日本人学校小学部三年 古賀 日南子

私は四才の時に東京でバレエを始めました。はじめは、みんなについていけるか心配でした。でも、やっていると、だんだんみんなについていけるようになりました。お友だちや先生がアドバイスをいっぱいくれたからです。それがうれしかったです。

「アラベスク」というステップの練習をしていた時のことです。さいしょは、バランスがとれなくて、転んでいました。でも先生が、

「手をはなの前にやって、目は手を見ると、バランスがとりやすくなるよ。」

とこつを教えてくださいました。その通りにやってみると、ぴたっと止まることができました。それから、だんだんと上手になっていき、バレエをずっと続けたいと思うようになりました。

しかし、二年生の時にかん国に引っこしました。「かん国に来てもやっぱりバレエを続けたい。」そう思ってたかん国のバレエ教室に行ってみました。行ってみると、レッスンはかん国語で、先生が何を言っているかまるでわかりませんでした。でも、先生はいつしようにけんめい、身ぶり、手ぶりで教えてくれました。やってみると、かっこよくできました。そのとき、「かん国語が分からなくても安心して練習ができる。」とうれしくなりました。

日本とかん国でバレエを習ってわかったことがあります。それは、バレエを教えるためには、言葉よりも伝える力や思いを持つことが何よりも大切だということです。

かん国の先生のそんなすがたを見て、私も伝える力を持つ先生になって、世界中の子供たちにバレエの楽しさを教えたいくなりました。

バレエの先生になるためには、レッスン代やコンクール出場のひょうなど、とてもお金がかかります。どりよくも必ずです。私の夢をおうえんしてくれる父母のためにも、かん国でしっかりと練習します。

日南子のライフプラン

将来なにになりたいか? バレエの先生

その理由: 世界中の子どもたちにバレエの楽しさを教えたいため

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2018年	9(3年)		
2019年	10(4年)	習事をがんばる	習事の月謝
2020年	11(5年)		
2021年	12(6年)	コンクールのじゅんぴをする	習事の月謝
2022年	13(中1)	コンクールに出る	コンクール代、衣装代
2023年	14(中2)	コンクールでしょうじょうとメダルをとる	
2024年	15(中3)	高校受験、英語を勉強	受験代、参考書代
2025年	16(高1)	外国のコンクールに出てゆく	コンクール代、入学金、学び、交通ひ
2026年	17(高2)	しゅうする	
2027年	18(高3)	大学受験	受験代、学び、参考書代
2028年	19(大1)	東京シティバレエ団に入る、大学入学	お金の代、入学金、学び
2029年	20(大2)	東京シティバレエ団	レッスン代、学び
2030年	21(大3)		学び
2031年	22(大4)	大学卒業	学び
2032年	23才	東京シティバレエ団の先生	こぎ代
2033年	24才	について勉強する	
2038年	30才	先生になる!	先生になるお金